

卓球バレー

卓球バレーってどんな競技？

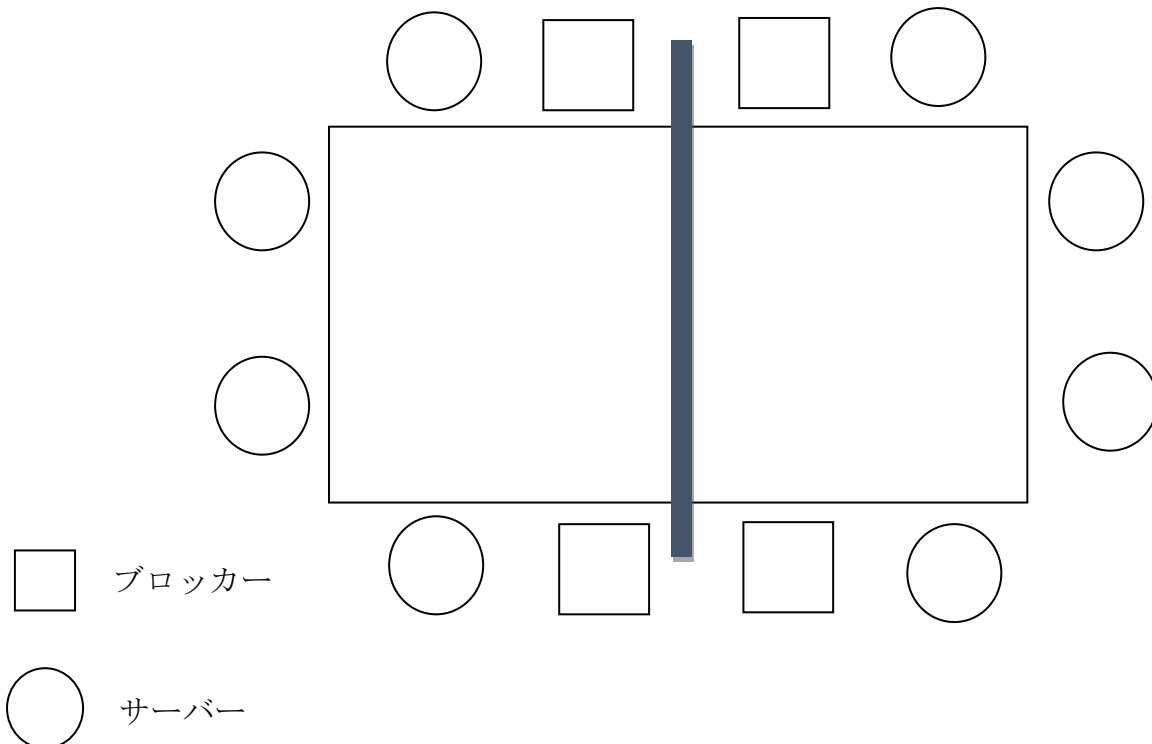
文字通り、卓球台と音の鳴るピンポン球を使ってバレーのように戦います。

6対6で競うチームスポーツで、木の板のラケットでピンポン球を打ってパスを回しながら、ネット下を通過させて、3打以内に相手コートに返球します。

障害のある人、高齢者や子どもも一緒にプレーできるのが魅力です。

卓球バレーの主なルール

- 卓球台から 5.7 cm 上げたネットの下を金属球が入った音の鳴るボールを転がして、打ち合う競技です。
- 1 チーム 6 人制で、いす、または車いすに座った状態で卓球台を囲み、ボールを木の板のラケットで相手コートに打ち返します。
- サービスはネット側の 2 人（ブロッカー）を除く 4 人（サーバー）が順番にうちます。各チーム 1 本ずつ交代で行います。
- 基本的にはバレーボールのルールに準じ、卓球台からボールが落ちるか、3 打以内に返球できなかった場合に相手の得点となります。
- 立ち上がったたりお尻を浮かしてプレーしたときやブロッカーがサービスされたボールを直接相手コートに返したりするとファウル。相手得点となります。



得点となるファウルの種類

反則名	内 容
サーブ	ブロッカーは相手のサービスを打ち返すことはできない。
ドリブル	球をラケットで二度打ちすると反則となる。
ホールディング	球をラケットで押さえ込みながら打つなどして、打球音がしないときや不自然に打球の角度が変わったときは反則となる。必ずはじき返すように球を打ち返さなくてはならない。
タッチネット	ラケットや手でネットや支柱に触れると反則となる。
ボディボール	ラケット以外の腕や体で球を打つことはできない。
サポート	ネットの外側にボールがあたったときは、あてた側の反則となる。
スタンディング	椅子から腰を浮かせた時点で反則となる。
オーバーネット	ラケットがネットを越えて相手コートに入ると反則となる。
ボールアウト	打球がネットを越えて相手コートに入ったとき、ネットの下を通過していった球が相手コートに落ちることなく（ノーバウンドで）コートの外へ出た場合は、その打球を打った側の反則となる。通常の打球がコートの外へ出たときには打った側の得点となる。

